学校図書館活用研究

研究テーマ
各教科等の授業で計画的、継続的に学校図書館を利活用するための学習活動の工夫
―　新聞を活用した学習活動の工夫　―

１　はじめに

「下野市学校教育計画」２「豊かな心」を育む教育の推進（２）読書活動の推進　より

努　力　目　標	努　　力　　点
①　学校図書館の活用を図る。	ア　学校図書館教育主任等を中心に全職員が協力して、児童生徒が自主的に読書ができる環境の整備に努める。 イ　調べ学習や新聞を活用した学習など、各教科等の授業で計画的、継続的に学校図書館を利活用する。 ウ　図書システム活用による貸出・返却作業や蔵書確認を、正確かつ効率的に行えるよう担当教員と図書支援員が連携する。 エ　市の図書館との連携・協力を密にする。
②　読書の習慣化を図る。	ア　学校での一斉読書活動の時間等を定期的に設ける。 イ　図書の紹介やビブリオバトルなど、児童生徒の自主的、自発的な読書活動の充実に努める。 ウ　家族で読んだ本について話し合ったり、好きな本を紹介し合ったりする「家読（うちどく）」を奨励する。

学校図書館活用研究会では、平成２８年度から令和元年度までの４年間、「市立図書館と連携した活動の工夫」や「子どもが自主的・自発的に取り組む読書活動の工夫」をテーマに取り組んできた。その結果、市立図書館との連携が進み、市立図書館の蔵書を利用したブックトークや読み聞かせを通して児童生徒が良書に触れる機会や、委員会の児童生徒が図書館職員から助言を受ける場が増え、児童生徒が主体となった読書活動の実践が見られるようになった。

一方で、様々な文字媒体に慣れ親しむことができる児童生徒と、文字を読むこと自体に抵抗がある児童生徒と二極化が見られること、調べ学習の手段がインターネットの活用に偏っていることなどの課題も見られた。また、全国学習･学力状況調査からは、児童生徒の多くが新聞をほとんど読んでいないという実態が浮き彫りになった。

これらの状況を踏まえ、今年度は「新聞を活用した学習活動の工夫」に焦点を絞り、授業や家庭学習で活用できるワークシートを作成し、「『下野市新聞の日』新聞を楽しむ体験事業」と連動しながら研究を進めることにした。

２　本市の現状（平成 29～31 年度 全国学力･学習状況調査 質問紙調査より）

「新聞を読んでいますか」の項目に対する回答状況（下野市）※数値は%

１：ほぼ毎日読んでいる　　２：週に１～３回程度読んでいる
３：月に１～３回程度読んでいる　　４：ほとんど、または全く読まない

年度＼校種		小学校				中学校			
		回答番号				回答番号			
		1	2	3	4	1	2	3	4
H29	市	10.2	14.4	24.1	51.3	5.2	13.2	17.8	63.8
	全国	7.8	13.2	19.2	59.6	5.3	9.6	15.5	69.5
H30	市	9.4	15.3	24.4	50.7	5.7	11.1	22.2	60.6
	全国	7.4	12.5	19.0	60.9	4.9	9.0	15.3	70.4
H31	市	8.5	15.3	29.2	46.8	5.4	11.4	21.2	62.0
	全国	7.0	12.0	19.5	61.4	4.4	8.3	15.8	71.3

全国の平均値と比べると「ほぼ毎日読んでいる」「週に１～３回程度読んでいる」と回答した児童生徒の割合は高いが、小学校６年生では半数、中学校３年生では６割が「ほとんど､または全く読まない」状況にある。

３　研究内容

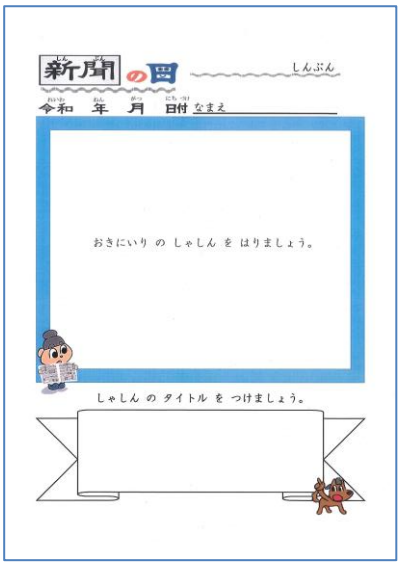
新聞活用を推進するためのワークシートの作成
・発達の段階や興味に応じて児童生徒が幅広く活用できるワークシートを作成する。
・授業での実践や家庭学習を通して、自主的、継続的な活用を図る。

【作成したワークシートの一例】　データはWinBird文書フォルダからダウンロード､編集可

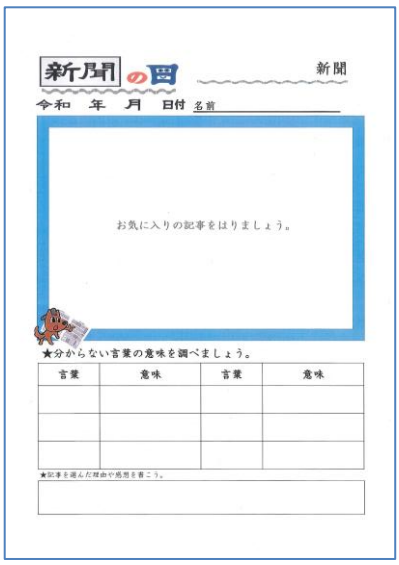
小学校

・お気に入りの記事からタイトルを作成したり、言葉の意味調べをしたりするもの

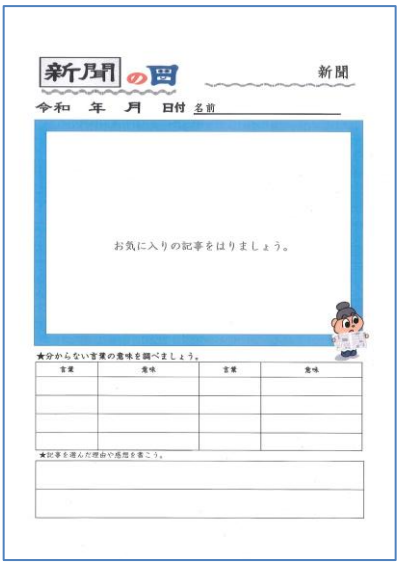
低学年向け



中学年向け

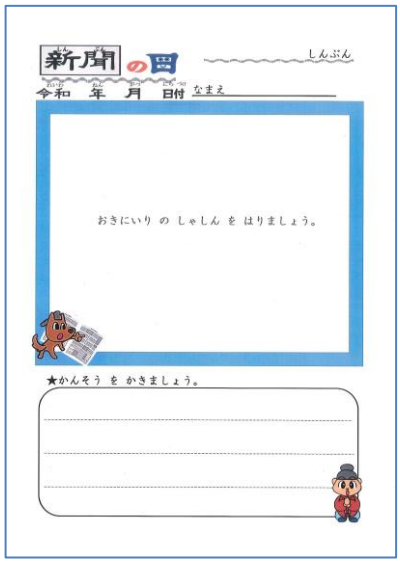


高学年向け

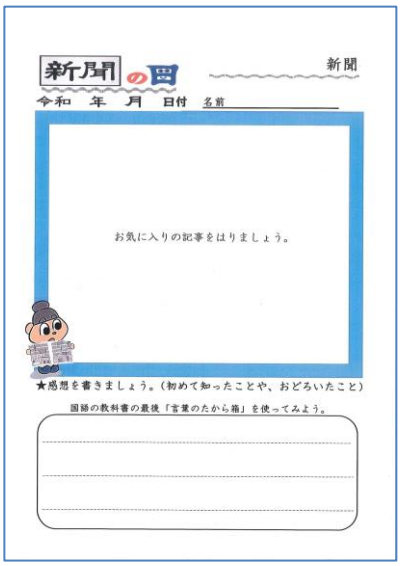


・感想を書くスペースを多めに設けたもの

低学年向け



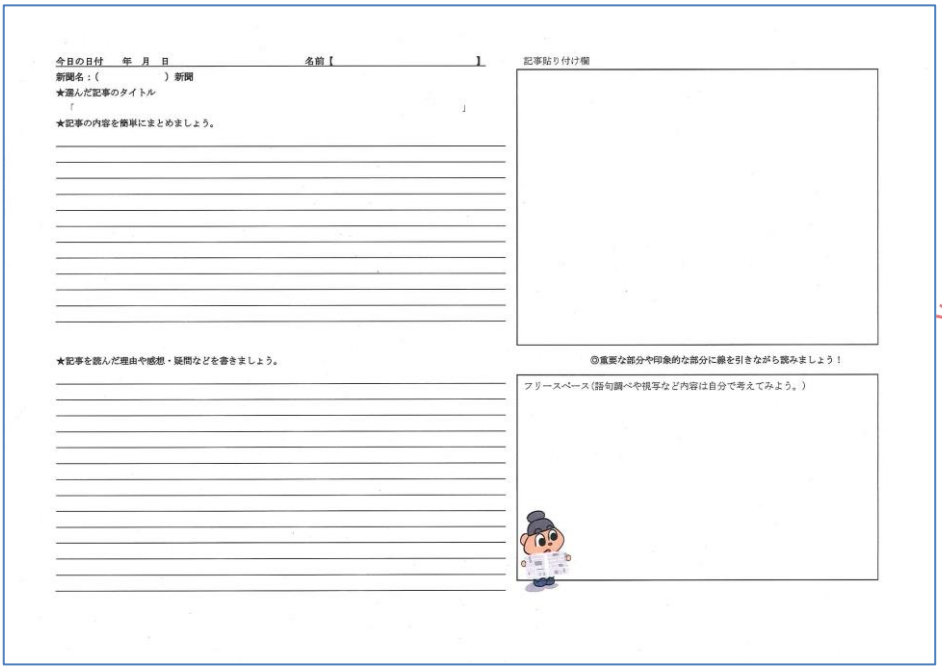
中学年向け



高学年向け

中学校

・要約や感想、フリーペースを設け、幅広く活用できるようにしたもの



4　成果と課題

(1) 成果

・「下野市新聞の日」での新聞配付の機会を利用して実践したことで、研究委員だけではなく、学校全体に研究内容を広げることができた。

・隙間の時間を利用して取り組める分量にしたため、授業時間だけではなく、朝の学習や家庭学習等の時間など様々な時間を利用して取り組むことができた。

(2) 課題

・国語科に限らず、他の教科においても新聞を活用した授業実践ができるよう、どの教科のどの単元で新聞を活用できるか、研究を進められるとよい。

・本研究会で作成したものだけではなく、各学校で作成したワークシートを共有できる方法を考えていきたい。